

桜山だより

河野高等技芸院
河野高等女学院
下関河野高等家政女学校
下関河野学園高等学校

下関短期大学付属高等学校
下関女子短期大学付属高等学校
下関河野学園中学校
下関女子短期大学付属中学校



校訓
正 自 覚
温 感 謝
雅 謝 覚

発行人
桜山同窓会事務局
下関桜山町1番1号
TEL 0832-23-0338
FAX 0832-31-1681
印刷
泉菊印刷株式会社
下関市長府瑞町8番48号
TEL 0832-48-3553
FAX 0832-48-0039

桜山同窓会を想う



同窓会会長
上田 常子

母校の桜が、大樹になり春爛漫と花が咲き誇っていました。皆様お元気ですか？一年たつのは、早いですが、本年も同窓会が、まいりました。今日、この頃、世の中不安で厳し過ぎますが、気持ちのゆとり、やすらぎを、恩師をゆとり、同窓生の皆様方、一日求めてみませんか。今年の卒業式の答辞の中に、凛とした河野タカ先生の、教育の真髓である「礼儀作法」は小笠原流と云われました。私はその言葉に何か懐かしい気持ち一杯になりました。今日この頃の報道やテレビ番組で、今は無い人としての「道徳」や「思いやり」を十二分に心の教育として受けた事をあらためてありがとうございます。お礼を申し上げたい気持ちでございます。この頃の時世で、入学生がどちらの学校も少

なくなっております。私達同窓生で我が母校の短大、高校、幼稚園生の志願者も口づつて親戚、知人、友人、ご町内の方に呼びかけて下さい。お願い致します。理事長、校長先生および諸先生のご苦勞、努力に感謝し、誇りをもって力強く生きて行きます。母校の益々の御発展を願ひ同窓生の皆様が心豊かに又御健勝でありますことをお祈り致します。

同窓会において、大勢の方々と元氣一杯の笑顔にお目にかかれることをたのしみにしております。

私も、昭和五十三年に本校にお世話になり、はや二十四年目を迎えることになりました。タカ先生にご指導をいただいた二年間を始め、これまでの学園生活を振り返ると、様々な思い出がよみがえって参ります。採用試験で初めてお会いしたタカ先生のやさしいお顔は、いまだに心の中に鮮明に残っております。

本校も、家政科が生活教養科に、そして音楽科に男子生徒が入学し、今年で男子生徒も一年生から三年生までそろい、本学園も、幼稚園・高等学校・短期大学と、名実共に男女共学とな

母校の現況について



校長
松井 忠夫

着任以来五年目を迎えました。月日の経つ速さに改めてびっくりしております。この四年間、一瞬たりとも脳裡から離れなかったことは生徒募集のことでした。これは私学の校長の宿命であります。しかし今年も中学校の卒業生が減少する中一〇三名と三桁の数を何とか確保することが出来ましたのは教職員一同の大変な努力と関係者のご支援、ご協力のおかげと心から感謝しております。学校としては、建学の精神を継承しながら時代や国民のニーズに適応した教育を、と考へ、今年も授業の

日本舞踊等も取り入れて活性化に努めているところであります。

二期からは三年生を対象に卒業式の為に、週一回の予定で着物の着付を考へておりますので同窓会の皆様にも着付指導のお手伝いを是非おねがい致します。

次に先生方の異動についてお知らせいたします。十三年間の長きにわたって指導いただきました小川教頭先生が退職され、四月から常勤講師として引き続き指導していただいております。これで本校の名物先生でありました松尾、佐武、益本、小川各先生、創立者河野タカ先生の強い指導を

受けられた先生方は全て退職されたことになりました。一つの時代が経つたと云う感が致します。

進藤養護教諭も定年で退職になり、後任に山脇先生を迎えました。この外非常講師等で四名の先生方が退職され、新しく五名の先生方を迎えております。

また三月には一〇四名の生徒が卒業し、新しく同窓会の会員となりましたので、現在の同窓会の会員総数は七、四一五名となりました。今後とも同窓会の皆様方の特段のご支援とご協力をおねがいして現況報告いたします。

心新たに！

教頭 伊藤 清之

今年度の入学式は、桜山同窓会の上田会長にもご臨席を賜り、一〇三名の新入生を迎え、厳肅な内に無事終えることができました。そして、全校生徒三〇五名として、スタートいたしました。

私もお世話になり、はや二十四年目を迎えることになりました。タカ先生にご指導をいただいた二年間を始め、これまでの学園生活を振り返ると、様々な思い出がよみがえって参ります。採用試験で初めてお会いしたタカ先生のやさしいお顔は、いまだに心の中に鮮明に残っております。

本校も、家政科が生活教養科に、そして音楽科に男子生徒が入学し、今年で男子生徒も一年生から三年生までそろい、本学園も、幼稚園・高等学校・短期大学と、名実共に男女共学とな

平成14年度
卒業同窓会入会式
委嘱状授与

普通科三年一組

川原 真弓
福本 訓子
藤田 朋子
松田 京子

普通科三年二組

岡崎 有愛
一柳 恵加
古澤 有

生活教養科三年

津原 由起
宇賀 敬子

音楽科三年

岩下 麻衣
久家 優美
長見 真樹



平成14年

桜山同窓会

●日時 平成14年7月21日(日)10時から ●場所 シーモールパレス(ダイヤモンドの間)

書道教師生活を卒えて

教諭 井上 功一

昭和五〇年に本校着任以来、十七年間書道の教諭としてお世話になりました。御蔭さまをもちまして平成十四年三月末でその任を解かれました。

十七年間の思い出は、たくさんございますが、書道の教諭としての一番の喜びは、日展に入選したことでした。

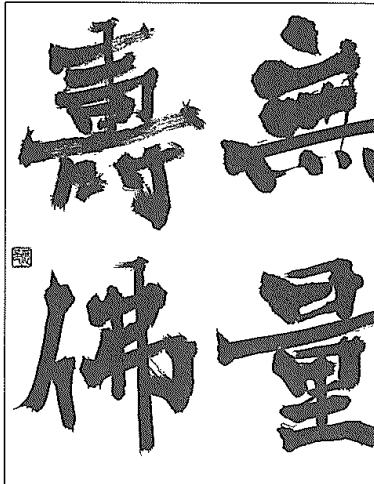
新聞発表当日、朝のホームルームに入ると、黒板全面に祝福の言葉が書かれ、何とも言えない感動が体の中を走りまわりました。教師として初めて担任を受け持ったクラスでもあり、彼女たちが卒業し、社会人になっても、何度か飲み会に行ったりする程度で交流が現在もあります。

また、書道の技術面では、奉職二年目、西村校長から卒業証書の揮毫を任せられたり、故 原校長からは校

内各賞状作成を任せられ、大変鍛えられたものでした。当時は未熟で、「何でこんなものまで自分が書くのか」という気持ちでしたが、現在の書道界での地位や、肩書などは全てこの時代の鍛練によって培われたものだと思っております。

そういふ意味では、この職場に大変感謝致しております。卒業生の中には、現在の職場や人間関係で不満を抱いている方もいらっしゃるかもしれませんが、若い時の鍛練はいつの日か、自分の実力となると思います。どうか、与えられた環境のもと、それぞれの立場で頑張ってください。

おわりに、下関短期大学付属高校同窓会の益々のご隆盛を祈念いたします。



「無量壽佛」の制作は、木工の骨組みで作ってあり、大きなセットにびっくりしました。この活動による製作物（型染め、縫紉り、ビーズ細工、折紙及びリサイクル

ボランティア活動を通して

河野 光子 (S37年普通科卒)

生活科学専攻(下関女子短期大学)の学生に生きた学習と考え、私の指導する「染色実習」を活用して地域の方と交流する体験学習を企画しました。それは、老人保健施設の高齢者を対象とする「型染め」を中心とした(すでに音楽科が安岡病院で実施しているボランティア活動を見学の上、現場の方と相談しふさわしい手法を選び)ボランティア活動を始めました(平成十一年六月)。その後、訪問介護員養成講座の導入により、受講生に学外実習の事前課として、「ボランティア対策体験」を実施(平成十二年八月から年に五、六回)し、活動を継続しています。

この活動による製作物(型染め、縫紉り、ビーズ細工、折紙及びリサイクル



「サンビュール下関」(厚生病院に隣接)にて、この活動を行っていただきます。これらの施設訪問を重ねていますうちに、顔馴染みの方もふえ笑顔で再会を喜べる親しい仲間となりました。高齢者の方々が、「命の尊さ」を持って、なお一層お元気でありますように。ボランティア活動の準備にいそむこの頃です。

思い出

田中 芳子 (元家庭科教諭)



私は昭和三十一年四月より三年間河野学園高校にお世話になり、家庭科、商業科、普通科、中学校の「一般家庭」の受持ちでした。その頃の商店は早朝より開いていましたので、調理実習の日には、朝から当番

の生徒さんと長崎町、竹崎町の商店街で待合せをして材料を買いながら、始業時間の八時二十分に間に合うように登校しました。経済の勉強も兼ねています。食糧不足の時代でしたが、下関駅周辺の商店街と唐戸の活気があり希望の食材が手に入りました。当時では珍しいデコレーションケーキ(パースデーケーキ)の材料の無塩バター、アンゼリカ、アラザンやケーキを作る器具も唐戸で求めること

ができた助かりました。秋の文化祭では会席料理やケーキの展示も盛大にできました。

修学旅行は、昭和三十三年五月に初めて関東へ行くようになりまして。前年までは関西方面でした。行き先は箱根、茅ヶ崎、江ノ島、鎌倉、東京、日光、永平寺、京都です。

熱海より箱根の強羅へ。旅館からの眺望のすばらしかったこと。茅ヶ崎海岸の松林を眺めながら鎌倉へ。お願の優美、円満な大仏様。真直にのびる参道の若宮大路を、南から三つの大鳥居をくぐって長い石段を登ると鶴岡八幡宮。大船の松竹撮影所では、「橋山節考」

「鯨テーマに授業 郷土史や食文化」(5/9日付山口新聞)

「鯨にもつと関心を下関短大付属高で講演試食」(5/9日付毎日新聞)

これは、翌日各新聞社の朝刊に一面に取り上げられた見出しの一部である。五月八日の付属高等学校に集まった報道員・新聞・テレビ局合わせて、二十名、それぞれに噂を聞いた同窓生等、一日大変な賑わいであった。今年度より、本校がスタートした総合的な学習の一環として企画した、講演会および試食会は、下関で開催された国際捕鯨委員会(IWC)の総会に関連して、鯨をテーマにしたこと

「下関と捕鯨について」

教務主任 河村 茂 実

による反響であった。テレビカメラや報道カメラの前で生徒たちは、やや緊張気味であったが、無事、調理・講演会・試食会と所定の行事をこなしていった。

講堂に集まった約三百人の生徒を前に、下関市IWC推進室職員、岸本充弘先生が講演会で、かつて大洋漁業の本社が下関にあり、鯨肉を使ったソーセージなどが製造された例をあげられた。また、「下関は鯨で賑わった町」と説明され、「下関市は鯨の町」として情報発信しています。皆さんが鯨をたくさん食べ、鯨問題にもつと関心を持って欲しい」と呼びかけられた。教室へ戻った生徒たちは、



日本鯨魚協会から提供された鯨肉(ミンク鯨肉十五kg)を、生活教養科の二・三年生によって、調理した「鯨の竜田揚げ」を味わった。

参加した生徒たちにも好評で、試食会では教室のあちこちから「おいしい」の声があがった。また、「このような普段では、できない授業をして欲しい」「今日はテレビカメラに驚いたが、鯨のことは興味深かった。」「生徒の反応は上々であった。今後共、積極的に外部講師の招聘により総合的な学習を取り組んでいきたい。

下関十字堂楽器店

株式会社

本店 〒750-0007 下関市赤間町3-1-31
TEL (0832) 23-2311
FAX (0832) 3-5249

シーモール店 〒750-0025 下関市竹崎町4-4-8
TEL (0832) 31-9090
FAX (0832) 31-9090

宇部店 〒755-0043 宇部市相生町5-1-2
TEL (0836) 21-5869
FAX (0836) 33-3630

OUMI
Good Foods Create Company

本社 〒750-0049 山口県下関市栄町10-10-705
TEL 0832-33-7439

食品事業部 P-FIVE 〒750-0018 山口県下関市豊前田町2-7-10 B-1
TEL 0832-24-3503

ナポレオンのやつあたり 〒750-0016 山口県下関市細江町1-7-12
TEL 0832-32-2728

一家の健康は内食から

株式会社 静

本社 〒751-0816 山口県下関市緑野町3丁目13-18
TEL 0832-31-2941 FAX 0832-22-3711

送達センター 〒751-0816 山口県下関市緑野町3丁目13-18
TEL 0832-31-4734 FAX 0832-32-8304

総本店 〒751-0018 山口県下関市豊前田町2丁目6-23
TEL 0832-31-9702 FAX 0832-31-9702

紳士服&カジュアル&制服・学生服

コトウ

■本店 下関市細江町1丁目7-8 (光明寺下)
TEL (0832) 31-1200 FAX (0832) 31-0904

■KOTO 下関駅前シーモール南2番街(セントラルコート前)
TEL (0832) 31-1100 FAX (0832) 31-5713

■ARKS 下関駅前シーモール南2番街(セントラルコート前)
TEL (0832) 31-1301 FAX (0832) 31-1300

「バンド活動の私」

宇野修子
(S57年音楽科(音楽)卒)

爽やかな風と光が、夏の間近いことを告げているようですが、皆様、お変わり御座いませんか？
私が母校を卒業して、早や二十年がたちました。その後、何度か学校にお邪魔する機会がありました。諸先生方も変わりなく接して頂き、とても感謝しております。

音楽に賭ける情熱は皆同じです。よくイベントの要請を受けて演奏に行きますが、子供からお年寄りまで一緒に楽しんで頂いています。頑張ろうと言う気になります。こう言う気持ちになれるのも、母校で音楽を学んだからだと思います。どうか、高校だけでも音楽科の灯が消えないよう願っております。



日本舞踊の道で

宮崎 千春 (H2年普通科卒)

猿若流を小学校三年生より師匠である叔母から習い、初めてから、平成十二年十月に名取りとして「猿若千春」と称し、舞踊界で活躍しています。会の発表会はもちろんですが、今春の「先帝祭」(五月三日)に再び(初回は、中学三年生の時、四番太夫として出場)上臈として、五番傘止め太夫を演じました。上臈の衣裳は二十六kg、下臈は三ツ齒は二kg、片足で1kgと言った重たい着衣で、外八文字を踏み、安徳天皇をまつる赤間神宮にお参りしました。なお日本文化の紹介として、私の上臈姿をシンガポール(平成十年九月)にて披露しました。卒業後は、家業(魚種製造)の仕事に追われていますが、今後とも、稽古を重ねて高めたと思っております。

よく部活動を理解して頂いた思い出、又指導して下さいました先生の定年、私達にとつてあの時が一番輝いていたかもしれない。

私も生まれ育った地をなれ(現在、岐阜市に在住)三十五年、なつかしく思います。何年か前に立ち上った学校もむかしのおもかげうすく、寂しい気持ちですが、その場になつたと昔が思い出されます。(旧姓 福水)

保育園での栄養士として

小林 千紗
(H8年普通科卒)

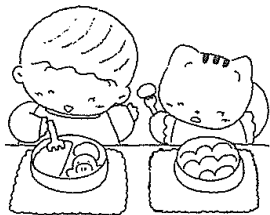
付属高校から下関女子短期大学の食物栄養科を卒業して、専立寺保育園という彦島の保育園に栄養士として勤めることができました。

今年でもう五年目で、毎日とても楽しく仕事をしています。自分で献立をたてて、材料の発注などをし、とても



やりがいのある仕事と自信を持って言えます。午後三時のおやつは、手作りのさつま芋のパンケーキ、バナナケーキ、カップケーキなどを作り、また、園児と一緒にのクッキー作り、お団子作りなど、子供はともて料理に興味を持ち喜んで取り

組んでいます。「お誕生日会」では、その月のお誕生日の家の方を招待して、バイキング形式で揚げ物、サラダ、野菜スープ、果物などを出し、皆さん一緒にお食事をします。私は、この仕事に出会えて、本当に幸せです。



光陰矢のごとし、月日の流れるのが早いので、思えば卒業して四十年、今こうして元気で過ごすことが出来るのが不思議に思えます。私達の高校時代は、どこで平和な時代の様で、必死に勉強した記憶もなく部活動に汗水流して来た様に思います。

思い起せば私達はハンドボール第一期生。今までにない部活動、体育新任桑原先生は、大学新卒のスラーとしたハンサムボーイ。この先生によつてつくれた新生ハンドボール。右も左もわからず、当時は今と違つて外での球技の日も練習で、ただただ先生の指導のもとに動いていたと思います。



仕出し 中巻

〒750-0041
下関市向洋町(銀鏡通り)
電話0832@9313番

オオバヤシスポーツ

熱血スポーツ応援団!

シノノセ本店 下関市深町1番4号
Tel 0832-31-5500 Fax 0832-31-1118

シノノセ支店 小野田市中野町(第1ビル) (スポーツセンター前)
Tel 0832-84-0955 Fax 0832-84-6568

東急観光

旅を創造する プロフェッショナルです

下関支店 下関市細江町1-1-11
TEL (0832) 31-3611

Face to Face

この街といきていく

下関信用金庫

下関市細江町1丁目1番8号
TEL 0832-23-3461 FAX 0832-23-3469
http://www.shimoshin.co.jp/

高校生活を振り返って

岡崎 愛 (H14年普通科卒)

三年前の春、この学園の正門をくぐった時は自分自身、短大生活をおくることになると思っていまらなかった。考えてみれば、短大生活をおくる自信をつけさせてくれたのは、高校で思っていたより、高校で思っていたよりも、高校生活を送るにあたって、たぐさんの思い出が浮かんできます。入学して間もない頃の新鮮ながらも不安でいっぱいだった気持ち、懐かしい一言ですが、その当時は真剣そのもので何が何でもよく分りませんでした。しかし、

「努力」という言葉

大谷 友理 (H14年教養科卒)

季節の移り変わりが早い時期に私達は卒業しました。桜の花が咲き乱れる中、袴姿で校内を歩いた経験は永遠の思い出となることでしょう。ふと、高校生活を通して私が努力して得られたものを考えた時、何が思い浮かぶかと言えば、勉強や授業の内容ではなく部活や友人関係と云ったことでした。中には高校生活は、暇なもので意味がなかったと言う人もいます。私は高校生活が楽しかったか否かは全て自分の努力によって違ふものではないかと考えています。これは努力して勉強を頑張ったとか、部活を頑張ったという意味ではなく、どれだけ自分に向上心を持ち、楽しんだかという努力を表しています。

「桜山祭」では、先頭に立つて企画をし、全校生徒の代表として頑張った事は、大きな自信ができました。その時、「協力する」ことの必要性を学んだ気がします。そして卒業式を袴姿で迎えた感動は、一生の思い出としていつまでも胸に刻まれていることでしょう。新しい春がきて、こうして短大生となりました。保育士になりたいという夢を抱いたの、まだまだ慣れないことばかりで戸惑いの毎日です。大人としての責任も負わなければいけません。夢に向かって初心は忘れなないようにします。保育士になりたいという夢を...

私はピアノを指導する仕事をしながら演奏活動をしています。小さな頃に好きで始めたピアノで、たくさん人と出会えることを嬉しく思います。演奏依頼を受けてから本番終了の間は、たくさんの方々の励ましや協力に支えられています。そんな皆様の支えが、私の練習の支えとなっています。学生の頃と比べると、じっくり時間をかけて練習するのは難しいもので、空き時間を見つけては本番に向けて準備をしなくてはなりません。ピアノの先生をしていくことから、しっかりと演奏しなくてはと、プレッシャーを感じることがあります。しかし私にとっては、人前で演奏するというのは、仕事と演奏の両立の成果を披露する大切な場でもあります。聴衆者に喜んでいただけるよう練習に練習を重ねております。私の場合、ドキドキの本番では、精一杯弾くことに集中して演奏します。ときには、コンクールを受けるための伴奏を引き受けることもあって、泊まり掛けで会場へ向かうことがありますが、移動は旅行気分を味わうことができますが、さすがにコンクール。緊張感たっぷりになります。そして、拍手を浴びる時、ピアノを弾く人達への感謝の気持ちで胸いっぱいになります。それは幸せに包まれて、感慨無量なる瞬間です。いままです出会った人達に感謝しつつ、私はこれからも喜んでいただける音楽を目指し頑張っていくつもりです。そして、目標に向かって努力することの素晴らしさを生徒達に指導したいと思っております。

ピアノ演奏活動で思う

榎本 ゆみ

(H3年音楽科(ピアノ)卒)



んが、違う自分を探る為に小さな努力をしてみませんか？きつと高校生活も今の私生活も変わってみえてくることでしょう。大切なのは向上心と意欲だけ。「努力」という言葉を私たちが心の中で消し発想を変えてみると、もっと今より幅広い感受性や視野を持つことが出来る筈です。「努力」とは意外にイージーなことば。いつでも出来る、いつでもやめられる危ういモノだという認識だけはしていただきたい。今、あなたの中の「努力」はどんな形をしていますか？

編集後記
のこ協力が離れ、多くの方の同窓会を機会に、是非大勢の卒業生がはつらつとしたお姿にて参集されますようお待ちしております。恩師を囲んでの懐かしい思い出と共に、母校への支援をはかり、益々の発展を祈念致します。
平成十四年 実行委員一同

結婚おめでとう

H10年卒
小林(藤岡)佐千恵

新任紹介

名前 安本 幸子
生年月日 S.54.11.21



好きな言葉 渡る世間に鬼はない
ひとこと 今年三月、エリザベト音楽大学を卒業し、四月から非常勤講師としてピアノを指導しています。どうぞよろしくお願いたします。

お疲れさまでした
退任者
常勤
進藤 邦子先生(養護)
古谷 康一先生(事務局)
非常勤
橋本 好雄先生(理科)
邑本 玲奈先生(数学)
山形 小雪先生(音楽)
岡崎 隆志先生(社会)

卒業生総数

●河野高等技芸院	●下関河野高等家政女学校	家政科 1,368名
本科 116名	本科 704名	普通科 2,528名
研究科 22名	研究科 6名	生活教養科 325名
専攻科 15名	計 710名	音楽科 841名
計 153名	●中学校計 627名	計 5,592名
●河野高等女学院	●高等学校	卒業生総数
本科 287名	別科 117名	(平成13年3月卒まで)
研究科 46名	専攻科 13名	計 7,415名
計 333名	商業科 400名	
	平成14年度在校生 305名	